

委員会報告

2010～2011年度

No.1

第 2 回

委員会名	指導力・若手育成委員会
委員長名	L 見津 康

開催 日時	2010年 11月 9日 火曜日		16時00分 ～17時30分		
開催 場所	キャビネット事務局会議室				
出席者	● 河合地区ガバナー	● 大石第一副地区ガバナー	● 阿久津第二副地区ガバナー		
	○ L見津 康 委員長	○ L野々 晴久 副委員長	○ L 杉山南見夫副委員長		
	● L津村 信彦 副委員長	○ L加藤 敏彦 副委員長	○ L窪田 崇人 委員		
	○ L松田 啓 委員	○ L大塚 和広 委員	○ L渡邊 滋 委員		
	○ L堺田 明美 委員	○ L森 亮介 委員	○ L佐竹 稲史 委員		
	L 委員	L 委員	L 委員		
	L 委員	L 委員	L 委員		
	L 委員	L 委員	L 委員		
	L 委員	L 委員	L 委員		
	出席オブザーバー				
	○ L坪谷 茂 副幹事	● L岩田 守弘 副幹事			
	○ L赤尾 嘉晃 副幹事				
	次 第	司会・進行 L			
	1	委員長挨拶			
2	審 議 別紙議題による				
3	その他				
4	次回開催確認				
議 題	審議経過事項の概要				
1	委員長より、委員長会およびキャビネット会議の報告があった。				
2	次に、今後の委員会活動を行ううえで若手メンバーの定義について委員長より				
	委員全員に対して質問がなされた。				
	L 野々：前年度委員会の定義によると、入会5年以内、年齢55歳以下となっているが				
	個人的には、入会5年以内、40歳代までと思う。				
	L 加藤： L野々と同意見である。				
	L 杉山： L野々と同意見である。				
	L 松田： ライオズの場合は、年齢的には55歳くらいまでいいのではないか！				
	L 大塚： 経験は入会5年以内で何ら異存はないが、年齢的には50代半ばまでOK				
	L 渡邊： やはり30代、40代が若手といえる。				
	L 窪田： 現実的には50歳くらいまで若手ではないか！				
次回開催日時場所	2011年 1月 7日 金曜日		15時45分 ～17時30分		
	キャビネット事務局会議室				
	作成者	L加藤 敏彦			

議 題	審議経過事項の概要
	L 塚田: 40代半ばまでが若手だと思うが、各クラブでのメンバー構成年齢の格差があるので50代半ばまでいいのではないか。
	L 佐竹: 指導力という観点なら50代、若手育成なら40代。
	L 森: やはり自身の所属クラブをかんがみしてみると55歳くらいまでは若手といえる。
	委員長: 全メンバーの意見を拝聴した結果、当委員会におけるライオンズクラブの若手の定義とは、年齢55歳、入会年数5年以内を目安とすることで決めたい。
2	3/11開催のキャビネットアクティビティ進捗状況について、L加藤より難病対策支援委員会出席の報告と現状における問題点が述べられた。
	委員長: 確かに解決していかなければならないことはあるが、今回のアクティビティを通じて重要なことは若手の参加を促し、隣接する公園でおこなうライオンズ特有のイベントに触れることで若手のメンバーにライオンズの活動を理解してもらうことが委員会の使命であると思う。
	L 佐竹: 若手が参加するためには、参加することの重要性がわかる 目的を明確化したものが必要ではないか!
	L 渡邊: コンサートに行くだけでは結局、各クラブ、会長・幹事のみ参加となる恐れがある。
	委員長: 本来の目的は、難病で苦しんでいる子供・家族がいることを多くのメンバーに知ってもらいたいのが今回のアクティビティの意味である。
	L 坪谷: 委員長の意見と同時に、もう1つの目的として今回のアクティビティをメンバーが一丸となっていくことで閉塞感が漂う現状の打開策とし、クラブの活性化につなげたい。
	L 野々: 現状メンバーの中にはアクティビティのことを知らない人も多くいる。もっと宣伝広報に注力すべきではないか。
	L 杉山: そうはいつでも所詮は動員が最重要であると思う。どうやって動員をかけていか やはり、目的が重要なのではないか。
	委員長: 今のライオンズには閉塞感が充満している。まずは、若いメンバーに今回のアクティビティを体験してもらうことで奉仕活動の社会的重要性および自身の充足感を実感してもらいたい メンバーの意見は、次回キャビネット会議に進言し、よりよいアクティビティの成功のため若手メンバーの参加を呼びかけたいと思う。
2	リーダーシップセミナーについて、L杉山より実行委員会結成の要請がなされた。
	構成は以下の通り
	実行委員長: L杉山、副実行委員長: L野々、L津村、L加藤、実行委員: メンバー全員。
	事務局: L佐竹、L塚田。
	1月初旬までに実行委員会で概要を作成し、キャビネット会議に上程することとした。
	委員会とは別に、実行委員会を開催することとした。
	L杉山: セミナーを開催するに当たり、誰を対象とするか?ライオンズとは一体何か?まずは 知ることからスタートしたいと思う。とくに今回のセミナーにはZCPに参加をしてもらいたいと 考えている。

